



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2005年10月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

会報

第9回日本太鼓全国フェスティバル

～今年は愛・地球博で開催～



(愛知県合同チーム)

第9回日本太鼓全国フェスティバルが、7月20日、日本では15年ぶりとなる万国博覧会「愛・地球博」長久手会場のメイン会場であるEXPOドームにおいて、満席となる3,000人の観客を前に盛大に開催されました。

今回は、当財団主催、愛知県支部主管となり、文化庁のほか、地元の愛知県、愛知県教育委員会の後援をいただきました。

当日の1ヶ月前から始まった、入場整理券のインターネット予約は、予約開始日の午前中には配布終了し、当日会場前で配布した分も、2時間前から長蛇の列ができ、瞬く間に配布終了し、早い時期から、満席になる手応えは十分にありました。また、開演後もキャンセル待ちが100人ほど並び、最後まで入れなかったお客様は会場の外で太鼓の音に耳を傾けていました。

当日は晴天に恵まれ、絶え間なくドーム内に観客が吸い込まれて行きました。午後6時半、ようやく昼の暑さがやわらいだ頃、富木神幸太鼓の演奏がはじまり、主催者を代表して当財団の紀内会長の挨拶、続いて主管の愛知県西川支部長よりご挨拶をいただいた後、小口副会長の初っ切り太鼓を皮切りに、11団体の演奏が続きました。

全国から選抜された10チーム、そして地元愛知県から2チームの総勢227名が一堂に集い、1チーム7分という時間をフルに活用し、それぞれの地域に伝わる伝統太鼓と工夫を凝らした創作太鼓の、双方の魅力を十分に堪能できる、個性豊かな演奏を披露しました。

プログラムも順調に進み、ラストを飾ったのは、愛知県合同チーム総勢90名による「叡知の祭り」の演奏でした。これには、故笹川良一初代会長が大和と揮毫された、当財団にとって思い出深い大太鼓を財団設立後初めて使用し、晴れの舞台を飾りました。

演奏者の中には、スタッフと兼任されている方も多く、このフェスティバルで一層強くなった団結と、愛知県支部の益々の発展を感じさせる豪快な太鼓が会場に響き渡りました。

最後は、財団役員並びに出演者全員が舞台上上がり、手締めでフィナーレを飾りました。

本フェスティバルが、盛況裡に無事終了することができましたのも、愛知県支部の役職員をはじめ会員の皆様、そして出演団体をはじめとする関係各位のお陰と感謝いたします。

来年第10回大会は青森県で開催

第10回日本太鼓全国フェスティバルは2006年9月17日(日)に青森県七戸町で開催を予定しています。



(フィナーレ)

第9回日本太鼓全国フェスティバルを終えて

(財)日本太鼓連盟愛知県支部
支部長 西川 恵美子

平成17年7月20日は真夏の上天気に恵まれた。財団法人日本太鼓連盟が主催する、第9回日本太鼓全国フェスティバルの開催日である。しかも会場となるのは『愛・地球博EXPO 2005 AICHI JAPAN』のEXPOドームである。収容人員3千人有余の大会場にどれほどの観衆を集められるか、心配は関係者一同の胸に重くのしかかって、緊張の時間が過ぎ去って行きました。開場時間の午後5時に至り、会場付近に長蛇の列ができ始めた。盛会の確信を得る。関係者全員に安堵の空気が流れる。出演者の顔にも緊張の色がただよい、ムードは最高潮に達する。開演時間の6時30分になり、主催者の挨拶に続き、注目のオープニングチームの登場で世紀の開幕を迎えることになりました。会場は立錐の余地もなく、会場の外にも数百名の観衆が立ちやらず、熱気ムンムンの中で全て順調なスタンバイとなりました。

北は山形県、南は大分県から駆けつけた精鋭チームによる、太鼓の演奏は観衆の惜しめない拍手に支えられ、最後まで席を立つ人もなく、文字通りの大盛況で終了したことは、関係者一同の努力もさりながら、日本伝統の太鼓に対する関心の高さに、苦勞も吹き飛ぶ思いでありました。

今回の万博のテーマである、地球環境は日本の太鼓のテーマと密接な関係にあります。太鼓の生い立ちや演奏方法には、いろいろと差異があっても、人々の安寧を願い、豊作豊漁を祈願し、雨乞いを含めた、天候の豊潤を求めて、打ち鳴してきました。まさに地球環境であります。

これからも、精進を重ね、日本の太鼓の継承と発展のために努力してまいります。この一言が関係者の誓いでもあります。私も平成13年4月に財団法人日本太鼓連盟の愛知県支部の設立以来、3期目の支部長の任期中に、このような大きなイベントを成し



(西川支部長の挨拶)

遂げられたことを、なによりも名誉と思い、寝食を忘れて努力して下さった、多くの方々に心から御礼を申し上げ『第9回日本太鼓全国フェスティバル』のご報告に替えさせていただきます。

<出演団体>

- ・ 富木神幸太鼓 (石川県)
- ・ 龍連山と和太鼓「龍」 (山形県)
- ・ 太鼓集団 天邪鬼 (東京都)
- ・ 尾張新次郎太鼓保存会 (愛知県)
- ・ 銚子はね太鼓保存会 (千葉県)
- ・ 手取亢龍若鮎組 (石川県)
- ・ 富岳太鼓 (静岡県)
- ・ 御諏訪太鼓保存会 (長野県)
- ・ 豊の国ゆふいん源流太鼓 (大分県)
- ・ 石見神代神楽上府社中 (島根県)
- ・ 手取亢龍太鼓保存会 (石川県)
- ・ 出城虫送り太鼓保存会 (石川県)
- ・ 愛知県合同チーム (愛知県)



(満員となった客席)

第9回日本太鼓全国フェスティバル ビデオ販売のお知らせ

金額 VHS 3,500円 (消費税、送料込)
DVD 4,500円 (消費税、送料込)

申込み方法

下記へFAX、メール、郵送にてお申込み下さい。

(株)東海ビデオシステム 芸能部 吉村真澄
〒460-0013 名古屋市中区上り前津2-14-15
Tel. 052-322-6541 Fax. 052-322-6638
E-mail masumi@tvs.co.jp

納品方法

ヤマトコレクトサービス (代引) にて送付

* 団体の意向により太鼓集団天邪鬼、尾張新次郎太鼓保存会は収録されていません。

愛・地球博 地球サウンド

～渡辺貞夫サウンドが再来～



(演奏者と一体になって盛り上がる観客)

愛・地球博会場内EXPOドームにおいて、8月17・18日の両日、渡辺貞夫氏が総合監督する「地球サウンド」が開催されました。この行事は、6月に開催され好評だった「ジャパンウィーク・リズムワールド」の再公演で、前回に引き続き、日本からは霧島九面太鼓郷花^{ほろか}が出演、渡辺貞夫グループのほか、ブラジル、ポルトガル、セネガル、アメリカの演奏グループと、地元愛知の合唱団など総勢400人の子供たちが再集結しました。公演は、昼の部、夜の部と1日2回、2日間で計4回開催され、全公演共に3,000席は埋め尽くされていました。

ステージでは、各国の音楽を奏でる子供グループによる若さ溢れる演奏、そして見事に調和された合同演奏、合唱が披露されました。2時間に及ぶステー

ジの締めくくりは、愛・地球博政府出展事業のメッセージソング「Share the world～こころつないで～」が全員で演奏され、観客も立ち上がり、歌い、踊るなど、ドーム内が一体となって大変な盛り上がりを見せました。

後日、渡辺貞夫氏より、6月のリズムワールドと、今回の公演の様子を収めた素晴らしい写真集とDVDをいただきました。

また、公演後の20・21日には、霧島九面太鼓の地元である鹿児島県牧園町において「霧島高原太鼓まつり」が開催され、ゲストとして、渡辺貞夫氏、セネガルの太鼓チーム「ドゥグ」が出演しました。郷花のメンバーは演奏以外においても、各国出演者との交流を深めたようでした。



(霧島高原太鼓まつりで共演する渡辺貞夫氏)

第7回日本ろう者太鼓同好会山梨公演

9月19日、助成金交付事業・日本ろう者太鼓同好会山梨公演が山梨県南アルプス市白根桃源文化会館において開催されました。

この公演は平成2年より、2年に一度同好会加盟団体の持ち回りで行われ、今回は7回目の開催。日本各地(大阪府2、兵庫県3、新潟県1、広島県1、東京都1、山梨県1)からろう者太鼓計9団体が出演しました。

どの団体も熱心な演奏を披露し、観客から、両手を万歳して手をひらひらと振る手話の拍手を受けていました。

今回の開催担当の甲州ろうあ太鼓のフルメンバー(12名)での演奏は力強さ、統一性など素晴らしく、楽しい演奏でした。また、運営面においてもその重責を十分に果たし、大盛会の内無事終了いたしました。次回は2年後に兵庫県で開催されます。

第2回シニアコンクール全国大会出場者募集

- 日時 2005年11月27日(日) 開演14:30
会場 のとふれあい文化センター
石川県鳳至郡穴水町内浦5-28-3 Tel.0768-52-3401
主催 (財)日本太鼓連盟、(社)石川県太鼓連盟、
(財)石川県芸術文化協会、北國新聞社
協力 北陸三県太鼓協会
後援 総務省、文化庁、石川県、石川県教育委員会他(申請中)
協賛 (株)浅野太鼓楽器店、
(財)穴水町文化・スポーツ振興事業団
出場資格 打ち手対象 60歳以上の個人
但しリズム奏者1名(60歳以上)の共演は可
2人以上の共演は全員60歳以上
費用 全費用は、出場者自己負担
表彰 名人、準名人、敢闘賞、その他特別賞
申込先 (社)石川県太鼓連盟 事務局長 北村吉則
〒920-3121 石川県金沢市大場町東57番地
Fax.076-258-0265
E-mail ishikawa-taiko@p2223.nsk.ne.jp
*問合せは手紙、Fax、メールのみ可

日本太鼓と学校教育ー 23

今回は、高校で郷土芸能の授業を開設し、太鼓によって生徒たちの国際性と人間性の育成に尽力されている星槎国際高等学校 和太鼓部響 顧問の渡辺晃伸氏より寄稿いただきましたのでご紹介します。

「星槎太鼓が持つ躍動力」

神奈川県星槎国際高等学校 和太鼓部響 顧問 渡辺 晃伸



(他国の出演者との交流)

私が勤める星槎国際高等学校には通常の高校と違い、不登校の生徒や学力不振の生徒、対人恐怖など様々な問題を抱えた生徒達で太鼓とは縁の遠い子供達ばかりが通っています。しかしそのような諸問題を抱える学校の中で、私は3年前より郷土芸能の専攻授業を開設し、生徒達に授業で日本太鼓や日本舞踊などの伝統芸能に触れさせる取り組みを行っています。学校にも通えなかったような子供達が太鼓に出会い、厳しい練習に耐え、演奏して人に聞いてもらい「ありがとう」と言ってもらえることによって彼らが無くしていた自信を回復させる効果があるのだと思います。それが次第に自身の楽しさや充実感につながり、子供達の人間性を育てているのです。それが星槎の持つ「楽しさの太鼓」につながってきたのだと思います。

今年3月に行われた日本太鼓ジュニアコンクールでは特別賞をいただくことが出来ました。星槎太鼓「響」には想像もし得なかった快挙でした。決して技術的に高いわけではなく、今までに一度も出場することすら出来なかったコンクールでしたから、子供達の喜びも本当に大きかったと思います。今回の課題曲は小口大八先生作曲の「祭り」でした。私たちは本当に祭りを楽しむような演奏をしようと、それだけを想い演奏しました。全国講習会などで習う基礎を毎日の練習に取り入れて3年が経ちますが、本当に基礎は大切であることを実感しました。

さらに国内に止まらず海外へも活動の範囲を広げています。2000年にはキューバへ。2002年には中国へと遠征し、今年の6月にはIOV-JAPANの柳氏の紹介でオランダへ2週間の招聘遠征に14名で参加しました。世界11カ国の参加者がInternational Folklore Festival "OP ROAKELDAIS" という大きなダンスイベントに毎日出演し、そのオープニングを任されました。日本チームの日本太鼓パフォーマンスはオランダの人々にも圧倒的な人気のパフォー

マンスだったらしく、演奏後には盛大な拍手と歓声をいただきました。他の国はそのほとんどが国民的ダンスを中心に出演され、世界の文化を一挙に堪能する毎日でした。他の国の出演者達とも日に日に国際交流を深め、パレードや舞踏会や医療施設の慰問演奏など多彩な交流と活動をさせていただきました。最後にはミサが開かれ各国のチームの代表が世界平和を願い一言ずつスピーチしました。異国の壁を越え、人種の壁を取り除き、共に手を取り合い幸せを願おうと堅い握手を交わしあい、フィナーレの演奏を行いました。やはり日本では経験できないような体験をすることが出来、感動と達成感に包まれて日本に帰ってくる事が出来ました。

このような取り組みが1高校として出来る学校も太鼓の団体も少ないとは思いますが、日本太鼓が子供達の国際性や人間性をここまで成長させた原動力となったことは間違いありません。日本の文化である日本太鼓がさらに世界中の人々に日本人の精神性と共に伝わって行って欲しいと思います。

高野右吉と秩父社中(埼玉県)が ロシア・ノボシビルスクで公演

代表 高野 右吉

ロシア公演4回目となる今回は、日露親善条約締結150周年記念事業の一つ「全ロシア青少年スポーツ交流フェスティバル」に、ロシア日本協会より要請を受けて8月24日～31日の8日間、少年中心の10名で参加いたしました。

3会場で屋台囃子、八丈太鼓、八木節、秩父音頭を演奏し、沢山の拍手をいただきました。太鼓の響きを伝えてくるという目的と、太鼓を通じ青少年の交流を図る成果は十分達成出来たと満足しております。

この度の演奏旅行で一層嬉しかったことは、多くのロシアの子ども達が太鼓の響きに歓喜してくれたことです。日本の太鼓とはなるほど、こういうものかと理解していただけただけでなく、太鼓の響きに胸躍らせた子ども達が私達を取り囲んでくれました。もしかしたら、子ども達が我が郷土の囃子の後継者になってくれるのではないのでしょうか。振り返ってみると、非常に充実した演奏旅行であったと思います。



代議員会、運営・技術委員会を開催

■第8回代議員会

7月21日、フェスティバル翌日に名古屋通信会館において、代議員38名(内委任状10名)、代理7名、支部事務局21名が出席して開催されました。

議題1 「2004年度事業報告について」

事務局より、資料を基に説明を行い特に異議がなく了承された。

議題2 「2005年度事業計画について」

事務局より、事業の実施内容並びに収支予算について資料を基に説明を行った。次いで塩見理事長より、5つの柱を中心とする事業の方向性や2006年度から支部講習会を重視した助成金交付事業のガイドラインが提案された。また、今年度の助成金交付事業について、福島県から残り1事業を支部講習会として開催したい旨の要望があり、特に異議がなく了承された。

議題3 「個人情報保護法の制定について」

本年4月に制定された個人情報保護法への対応について、事務局より資料を基に法律の概要説明と、財団としての対応説明があった。会員名簿の作製、各事業プログラムへの氏名掲載については、従来どおりとすることに多くの賛同を得た。

議題4 「支部規約・役員名簿等の提出状況」

事務局より、資料を基に支部規約・役員名簿及び加盟団体一覧について説明を行った。特に、支部より提出すべき総会資料、事業報告、収支決算等の提出について、税法上の観点からも早期に提出するように求めた。また、最近の社会情勢を反映して会員の退会が目立ってきているため、各支部において会員の動向を把握し、相談等に応じるなどの対応を要請した。

■第23回運営委員会・第21回技術委員会

両委員会が8月5日に合同で開催され次の事項が審議承認された。

議題1 「2005年度事業について」

- ① 2005年度事業の実施状況並びに実施予定について
事務局より、資料を基に2005年度事業の実施報告と今後の予定について説明し、了承された。
- ② 2005年度助成金交付事業の追加申請について
事務局より、1事業が未定になっている2005年度助成金交付事業の追加申請について資料を基

に説明し、審議の結果、福島県支部から申請のあった支部講習会を満場一致で承認した。

議題2 「2006年度事業について」

事務局より、2006年度事業の実施計画並びに助成金交付事業ガイドラインの見直しについて説明した。内容は次のとおり。

- ① 2006年度事業の実施状況並びに実施予定について
事務局より、資料を基に2006年度に計画している事業内容について説明し、了承された。
- ② 助成金交付事業ガイドラインの見直しについて
事務局より、資料を基に助成金交付事業ガイドラインの見直しについて説明した。審議の結果、これまで1回限りとなっている日本太鼓支部講習会事業を2006年度以降は回数の制限を撤廃することとした。また、支部からの申請事業が複数となる場合は、優先順位を明記することとした。次ページ対照表参照

議題3 「日本太鼓資格認定制度について」

事務局より、日本太鼓資格認定制度について議案を説明し、審議した。主な内容は次のとおり。

- ① 公認指導員の昇級と認定について
 - ・ 事務局より、資料を基に2級公認指導員4名について1級公認指導員への昇級理由を説明した。個々に審議の結果、いずれも昇級するに相応しいと判断され、全員一致で承認された。
 - ・ 推薦のあった1級公認指導員候補者2名について審査した結果、両氏とも全国講習会において専門講座の講師を務めるなど指導実績も豊富であり、伝統太鼓を継承する立場であることも助案し、全員一致で承認された。
 - ・ 以上6名の認定式は、全国講習会の開催にあわせて実施することとした。
 - ・ 4名の3級公認指導員候補者の推薦理由の説明があり、個々に審議の結果、いずれも異議なく全員一致で承認された。なお、認定は全国または支部講習会への参加後に行うこととした。
 - ・ 公認指導員に昇級するための講習内検定を5回以上参加した1級技術認定員1名について審議し、全員一致で3級公認指導員への昇級を承認することとした。
 - ・ 上記の審議に関連し、専門講座のアシスタントとして指導した場合は、その実績を昇級するための条件となっている講習内検定の回数に加算することとした。

② 公認指導員更新研修会について

- ・事務局より、日本太鼓資格認定規程により公認指導員が3年毎に参加を義務付けられている更新研修会の実施について、資料を基に説明があった。審議の結果、原案通り来年度の全国講習会に併せて実施することとし、詳細については、今後検討することを確認した。

議題4 「その他」

① 特別会員の見直しと一般会員の新設について

事務局より、会員組織規程に係る特別会員の名称を一般会員にしたい旨の提案があった。これは、予てより「特別」の意味を誤解することが多いため見直しを検討していたもので、審議の結果、原案通り名称を変更することとした。なお、規程の改正を伴うため、理事会に上程することとした。

② 賛助会員の入会について

事務局より、「パール株式会社」から賛助会員として入会希望があるため会員組織規程第12条の定めにより運営委員会に諮りたい旨の説明があった。審議の結果、これまでの賛助会員と異なり、太鼓界には関わりがなかった会社に対し、今後の太鼓界に対する貢献方法や、品質面の確認をした上で再審議することとした。

1級公認指導員が誕生

技術委員会で検討した結果、下記の6名の方々が認定されました。

これで1級公認指導員は28名となります。



田中俊己 1級-第29号
(おむら太鼓連くじら太鼓)



岩切邦光 1級-第30号
(橋太鼓響座)



脇元勝己 1級-第31号
(霧島九面太鼓保存会)



橋本光司 1級-第32号
(橋本流地獄太鼓和太鼓會)



菊池 修 1級-第33号
(八丈太鼓六人会)



安井 富 1級-第34号
(尾張新次郎太鼓保存会)

助成金交付に係るガイドライン変更のお知らせ

標記について、運営委員会・技術委員会合同会議において下記のとおり一部改正になりました。つきましては、新ガイドラインは2006年度事業より施行されますので、各支部にてご確認願います。

| 事業区分 | 現行回数 | 変更回数 | 備考 |
|-------------|--------|------|------|
| 支部講習会 | 1回のみ | 制限なし | |
| 教職員太鼓研修会 | 特に定めない | 同左 | 変更なし |
| ジュニアコンクール予選 | 2回まで | 同左 | 変更なし |
| その他の継続事業 | 2回まで | 同左 | 変更なし |

- 支部よりの申請が複数となる場合は、優先順位を明記する。
- 申請事業が予定事業数に満たなかった場合は、同一支部の同年度内における事業回数は特に制限しない。
- 2006年度助成事業の優先順位は上記に記載の順とする。
- *下記の事項については変更ありませんので引き続きご留意下さい。

助成事業に関する留意事項

- ・支部並びに県連に係る事業の申請、報告等は全て支部名とする。但し、主催については、県連等の実質団体名とする。
- ・財団からの助成金振込先は支部口座とする。なお、支部以外の県連等が実質支払先となる場合は、支部より実質支払先に支払うこととする。
- ・2006年度の締切は、本年11月末日とする。
- ・教職員研修会の名称は「第〇回〇〇県教職員太鼓研修会」に統一する。

日本太鼓が各地で関係団体に協力

第3回水とのふれあい in 浜名湖

8月21日、静岡県・浜名湖競艇場において、「水とのふれあいin浜名湖」が開催されました。

これは、(財)B&G財団が誰もが気軽に水に親しみながら、「水」に関心を持ってもらえるようにとの目的で開催したもので、競艇場水面を利用したバナナボート・カヌーなどのマリンスポーツ体験や、ライフセービング講習会などたくさんのイベントが行われました。

今回の演奏は、藤枝太鼓(静岡県)により、曲ごとに編成が違った多彩な演奏を披露し、太鼓の音と大きな拍手が広い場内に響いていました。



(藤枝太鼓)

第18回水心会夏まつり

9月9日、東京都・船の科学館において、水心会が親睦を目的に毎年開催している夏祭りが行われました。水心会は、日本財団や全国モーターボート競走会連合会などの関連団体から構成されているもので、一昨年にはじめて太鼓が出演してからは、その人気の高さから続けて出演依頼があり、毎年恒例となりつつあります。

今年は、邦楽アカデミー(東京都)が出演し、勇壮なパチさばきで夏祭りを盛り上げ、約600名の参加者の盛大な拍手をいただき、非常に好評でした。



(邦楽アカデミー)

亀岡市制50周年記念 第7回日本太鼓障害者大会のお知らせ

名称 亀岡市制50周年記念 第7回日本太鼓全国障害者大会(日本財団助成事業)
期日 2005年10月30日(日)
時間 開場12:30 開演13:00
会場 ガレリアかめおかコンベンションホール 京都府亀岡市余部町宝久保1-1 Tel.0771-29-2700
主催 財団法人日本太鼓連盟
共催 亀岡市、亀岡市教育委員会、社会福祉法人富岳会
主管 (財)日本太鼓連盟京都府支部
後援 厚生労働省、文化庁、京都府、京都府教育委員会、社会福祉法人全国社会福祉協議会
協賛 日本財団
入場料 無料(入場整理券が必要です)
問合せ (財)日本太鼓連盟 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580
(財)日本太鼓連盟京都府支部 Tel. 0771-22-0766 Fax. 0771-22-4933

出演団体 22団体

やまびこ太鼓(福島県)、甲州ろうあ太鼓(山梨県)、新潟市ろうあ協会万代太鼓「豊龍会」(新潟県)、諏訪養どんどん太鼓(長野県)、富岳太鼓 竜神組(静岡県)、静岡県立静岡北養護学校「北龍太鼓」(静岡県)、金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム(静岡県)、伊豆医療福祉センター「どんつく」(静岡県)、恵那のまつり太鼓(岐阜県)、ファミリーユニット童鼓(岐阜県)、石川県立ろう学校「風神太鼓」(石川県)、播州ろう龍姫太鼓集団「鼓鼓呂」(兵庫県)、かめっ子太鼓(京都府)、るんびに学園太鼓(京都府)、与謝の海養護学校寄宿舎「与謝の海太鼓」(京都府)、元太鼓(京都府)、豊里学園和太鼓「鼓粋」(大阪府)、豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」(大阪府)、NPO法人視・聴覚二重障害者福祉センターすまいる(大阪府)、仁寿太鼓(島根県)、四国中央市いわくら太鼓ろうあ部会「鼓龍会」(愛媛県)、糸口太鼓(大分県)

各地のたより

11月

| | | | |
|--------|---|--------------------------------------|--|
| 3日(木) | ジュニアコンクール神奈川県大会 出雲市太鼓フェスティバル | 神奈川県横浜市 島根県出雲市 | かながわアートホール 三刀屋文化体育館「アスパル」 |
| 6日(日) | ジュニアコンクール佐賀県大会 第4回太鼓エモーション 第20回茨城の太鼓演奏会 | 佐賀県佐賀市 群馬県藤岡市 茨城県ひたちなか市 | 佐賀市富士南小学校 みかぼみらい館 ひたちなか市文化会館 |
| 13日(日) | 蝦夷太鼓・札幌公演 第2回岩手県教職員太鼓研修会 和太鼓in「あかびら」和楽器の競演 福井の太鼓 | 北海道釧路市 岩手県紫波町 北海道赤平市 福井県敦賀市 | 道民活動センター 佐比内小学校体育館 赤平市文化会館 敦賀市民文化センター |
| 19日(日) | 第2回宮崎県教職員太鼓研修会 ジュニアコンクール埼玉県大会 | 宮崎県清武町 埼玉県玉川村 | 清武町文化会館半九ホール 玉川村文化センター |
| 20日(日) | ジュニアコンクール東京都大会 | 東京都品川区 | 品川区立東海中学校体育館 |
| 23日(祝) | ジュニアコンクール県予選及び 第6回和太鼓野州路を行く ジュニアコンクール茨城県大会 第2回教職員太鼓研修会 | 栃木県宇都宮市 茨城県筑西市 北海道室蘭市 | 栃木県教育会館大ホール 筑西市民会館 室蘭市文化センター |
| 27日(日) | 第2回シニアコンクール全国大会 ジュニアコンクール群馬県大会 | 石川県穴水町 群馬県甘楽町 | のとふれあい文化センター 甘楽町文化会館 |

12月

| | | | |
|-------|------------|--------|------------|
| 4日(日) | 第2回伝統芸能研究会 | 秋田県神岡町 | 農村環境改善センター |
|-------|------------|--------|------------|

2月

| | | | |
|--------|----------------------|--------|-----------|
| 20日(日) | 第3回ふくしまジュニア太鼓フェスティバル | 福島県郡山市 | 郡山ユラックス熱海 |
|--------|----------------------|--------|-----------|

来年2006年度日本太鼓助成金交付事業申請は今年11月末締切です

2006年度の日本太鼓助成金申請を2005年11月末日で締切ります。6ページに掲載のとおり、ガイドラインを変更しました。特に支部講習会、教職員太鼓研修会の開催を期待しております。希望の支部、団体は書類を整え、当財団宛に申請を行って下さい。

ジュニアコンクール予選、推薦の結果報告は11月末までに

支部事務局におかれましては、11月末日までに次の書類を提出して下さい。

- ・ 予選実施計画書、報告書
- ・ 出演団体推薦書
- ・ 出演申込書

講習会のお知らせ

第24回日本太鼓全国講習会(富山)

| | | | |
|----|---|--------------|-------------------|
| 期日 | 2005年11月12、13日(土日) | 基本講座 | |
| 会場 | 寺尾温泉 | 総合指導 | 古屋 邦夫 氏(技術委員会委員長) |
| 講座 | 専門講座 | 3級基本講座 | 安江 信寿 氏(1級公認指導員) |
| | 三つ打太鼓講座(複式単打) | 4級基本講座 | 若山 雷門 氏(1級公認指導員) |
| | 河合 睦夫 氏(富山県) | 5級基本講座 | 松枝 明美 氏(1級公認指導員) |
| | 八丈太鼓講座(単式複打) | 菊池 修 氏(東京都) | |
| | 縮太鼓講座(単式単打) | 渡辺 洋一 氏(東京都) | |
| 申込 | 富山県支部 事務局 熊野 Fax. 0763-32-2807 携帯. 090-3294-9711 | | |

第26回日本太鼓支部講習会(福島)

| | | | |
|----|---|----|------------|
| 期日 | 2005年12月10、11日(土日) | 会場 | 片平ふれあいセンター |
| 講座 | 3級、4級、5級基本講座 | | |
| 申込 | (財)日本太鼓連盟福島県支部 事務局長 渡辺徳太郎 Tel. 0243-33-3673 Fax. 0243-33-3673 | | |

第25回日本太鼓全国講習会(大分)

| | | | |
|----|--|----|----------------|
| 期日 | 2005年2月25、26日(土日) | 会場 | 由布市湯布院スポーツセンター |
| 講座 | 専門講座及び3級、4級、5級基本講座 | | |
| 申込 | (財)日本太鼓連盟大分県支部 支部長 河野 正治 Tel. 0978-42-5742 Fax. 0978-34-2122 | | |